

## 地方長官の交迭と本會の役員

K · T 生

這般行はれた地方長官の交迭で、理事佐上信一氏は岡山縣に堀切善次郎氏は神奈川縣に何れも地方長官として榮轉され東都を離ることゝなつた、榮轉榮進何れも御本人の爲には祝福すべきであるが本會としては随分痛手である。

佐上信一氏は人も知る我國道路行政の權威者であつて茲に筆するの要もないのであるが、本會として特筆すべきことは、氏が内務省道路課長時代に本會の創立に奔走されたことである、當時は民間に於ける道路改良熱も未だ今程でなかつた、此時に方つて道路の改良を目的とする私設團體を設立して賛成者から寄附金を募るといふのであるから困難なことであつた。濫澤氏の斡旋やら堀田山田其の他理事の奮闘やらで漸く會の成立を觀たものゝ此間に於ける氏の

調査畫策と言ふものは到底吾人の想像を許さない位であつた。創立後直に着手したのは例の東京市路面改良事業の調査であつて、之が爲に數十回の多きに亘つて理事會が開かれ、會合ごとに面倒な調査を要求さるゝので之が爲に氏は、吾人等不甲斐ないものを相手にして唯た日夜調査の進捗を圖つたのである、漸く苦心の結果成案を得たので理事會に附議すれば、一言居士の多い理事會では異論百出すると言ふ調子で何回調査を繰返したことが判らない、吾等は憤慨して調査不能を叫ぶし、理事中での八ヶ間敷屋堀田氏の如きは何を愚圖ついで居るかと言はぬばかりの督促振りで氏に迫ると言ふ有様で双方から板挟みにしたのであつたが、氏は少しも怒ることはない吾等に對しては溫顔以て慰撫鞭

達せられ、時に調査粗漏の點があつても決して吾等を責めたことがない、此態度は遂に吾人共の憤慨を消化して終つて、氏を慈父の如く敬慕しつゝ氏の配下に喜んで働いたのである、此大計畫が完成して總會に報告され更に政府當局に建議することに爲つて、今日の東京市路面改良事業の起業の動機と基礎的計畫を與ふるに至つたのも氏苦心の賜であると言つて過言でない、土木局を出て神社局長に榮轉後も、陰に陽に本會事業の爲に吾人を鞭達され、時に雜誌の發行が遅延すると、氏が食堂歸りに編輯室に立ち寄つて擲論的に督促さるゝので同入が發行日の遵守に精勵したものであつた、今は遠く岡山の地に去つて其の溫顔とエネルギーテックの言葉に接する機會の尠くなつたことは同人の遺憾に堪えない所である。

併しながら岡山縣は爲すべき多くの事業を持つて居る、殊に道路の如きは餘り改良せられたものがないことは、同縣の道路新設改築費が全國府縣平均額に比して著しく低額なこと徴して明かである、而かも財源が枯渴して茲に至

つたのではなく地租營業稅所得稅等の附加稅も制限を超過して居るとは言へ、他府縣の夫れに比すれば、未だ多くの餘裕を有つて居る外、戸數割も亦同様である、故に長官の方針一つで同縣の産業も發展の餘地があると言へる、從來の長官は屢々交迭して縣將來の大計を樹立する暇もなかつたのであらうが、財政の行き詰つた縣に行つて手を拱ね足を伸ばして運を俟たなければならぬ地方とは違ふから、大に手腕を振はれて地方の開發に新生命を與へて貰ひ度い、夫れと同時に我が會の爲には從來と同様に一層の盡力を希望して已まないのである。

神奈川縣に榮轉された堀切善次郎氏は本會の理事として盡された期間は僅に十月足らずであつたが、此短期間に本會の受けた利益は尠少でなかつた、公務多忙の折柄枉けて北海道々路改善宣傳の爲に數日を寄與せらるゝなど、本會の深く感謝する所である、本會の事業宣傳は之を從として斯界専門家の調査機關たらしむるのが、會の性質上適當であるとは氏の持論であつた、就職後早々此方針の下に從來

の調査部の組織を改良して五箇の分科たらしめ道路に關係ある法律、經濟、財政及技術に互つて調査研究を爲し、之を發表して斯界實務者の指針たらしめむことを期し既に役員配當までして愈々實行期に入つて居たのに、今回の轉任に依つて東京の地を離ることゝ爲つたのは、本會の爲には頗る遺憾とする所である。

氏の年齢を以つてして所謂一等縣の長官たる事は古今其の事例が無いと言ふ事である、平素に於てさへ一等縣として随分六ヶ敷のに彼の大震災を受けて復興途上に在るとき又大小水害を受けて愈々縣政は多事るとき氏を迎へた神奈川県は幸福であると言はねばならぬ、あの明晰な頭腦と大に爲さむとする手腕とは其の爲すべき大事業と相對照して適材適所の感を深からしむるのである、東京と横濱の地餘り遠くはない本會の爲亦一臂の力を添へて貰ひたい。

兩氏を東京の地から奪はれた本會は、新土木局長次田大三郎氏を理事として迎ふることゝ爲つた、氏は本誌「東京だより」が紹介したやうな路政通である、此人を得た本會

は多幸であると言はねばならぬ、本會が執行の急に迫られて居る事業は先程決定されて居る調査部の仕事である、調査概目を掲ぐることは容易であるが、愈々調査して之に對し意見を附することは一朝一夕の業でない此難事業を解決する急にあるとき氏を迎へたのは、地方長官の交迭が生んだ偶然の事とは言ひながら天が我が會に與するやうな心地がして欣快を禁し得ないのである、法螺を吹くのではないが、實際本會が既往に於て執行した事業と其の効果とを考察するとき、偉大なものであることは、吾人が茲に筆せずとも世既に定評の存する所である、土木局長の職務は固より多忙であつて、之に處する爲には私生活に於て十分の英氣を養ふことが必要であるが、夫人と轡を並べて乗馬を樂まるゝ時間の一部を割愛して本會事業の爲に一臂の助力を願ひたい。